

Gartner 利用ポリシー

更新日

2021 年 7 月 19 日

Gartner 利用ポリシー

Gartner 製品のご購入をありがとうございます

Gartner リサーチのライセンスをご購入いただきありがとうございます。当社は、この Gartner 利用ポリシー（旧「Gartner サービスご利用のガイドライン」）を、主にライセンス・ユーザーのために作成しました。このウェブサイトを引き続き利用し、このウェブサイトにアクセスする場合、この新しいポリシーに同意したことになりますのでご注意ください。本 Gartner 利用ポリシーは、分かりやすいルールと実際のシナリオを通じて、お客様が契約の範囲内で Gartner サービスを活用し、Gartner との関係から最大限の価値を得られるように支援します。

本 **Gartner 利用ポリシー**は以下の領域について説明します。

- 社内（顧客企業内）におけるリサーチ・ドキュメントの利用
- 社外（顧客企業外）におけるリサーチ・ドキュメントの利用
- Inquiry（お問い合わせサービス）
- ユーザー名およびパスワード

基本ライセンス。本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入されたライセンス・ユーザーに一般的に適用される基本ライセンスの内容を説明するものです。基本ライセンスとは異なる権利が付与されている Gartner 製品（すなわち、サービス説明書又はリサーチ成果物に追加の権利が示されている場合）については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的に本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。

製品固有の利用状況。Gartner が継続して製品ポートフォリオの拡充を進めていく中で、基本となる利用条件でさえも、お客様が購入したサービスのタイプによって若干異なる場合があります。購入されたサービスに対して本 Gartner 利用ポリシーの利用条件がどのように適用されるのかが不明な場合は、アカウント・レプレゼンタティブにお問い合わせください。

サービス利用状況のモニタリング。ライセンス・ユーザーによる Gartner サービスの利用も含め、Gartner は Gartner ウェブサイトの利用状況をモニタリングしています。本 Gartner 利用ポリシーに抵触している兆候が認められた場合、Gartner はライセンス・ユーザーの所属先の会社に連絡し、サービスの利用状況についての調査と、その利用が契約の範囲内であることを証明する情報の提供をお願いする場合があります。本ポリシーに抵触している場合、Gartner はその旨をライセンス・ユーザーの所属先の会社に通知します。ライセンス・ユーザーの所属先の会社は、係る通知の受領から 30 日以内に当該抵触行為を是正する必要があります。Gartner は、30 日の猶予期間中に是正されなかった場合にその裁量によりサービス提供を終了（もしくはアクセスを制限）し、またはサービス契約全体を終了する権限を有しています。実際のシナリオについては、こちら（[「Gartner 利用ポリシー」](#)）をご覧ください。Gartner は、お客様からのフィードバックおよびビジネス・ニーズを反映させるため、これらの実際のシナリオを定期的に更新する権限を有しています。ご不明な点は、電子メール（usageguidance@gartner.com）でお問い合わせください。

Gartner 利用ポリシー

社内（顧客企業内）におけるリサーチ・ドキュメントの利用

- I. Gartner リサーチにおけるすべての権利、権原、および利益は Gartner に帰属しますが、Gartner はライセンス・ユーザーに対して下記記載の「条件」でライセンスいたします。
- ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチを以下の方法で利用することができます。
 1. ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチ・ドキュメントを開封できます。ライセンス・ユーザーは、そのライセンス条件に従って Gartner リサーチ・ドキュメントを本数制限なしに開封することができます。ただし、(i)ライセンス・ユーザー個人での利用に限ること、(ii)ライセンス・ユーザーが自らの職務を行うためであること、および(iii)契約したリサーチ・サービスの範囲内であること、かつ、下記記載の「条件」を遵守する必要があります。
 2. ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチ・ドキュメントを印刷できます。ライセンス・ユーザーは、自らの職務において個人で利用するために Gartner リサーチ・ドキュメントを印刷することができますが、Gartner リサーチ・ドキュメントを社内・社外を問わず第三者と共有することは禁じられています。ただし、(i)ライセンス・ユーザー個人での利用に限ること(ii)ライセンス・ユーザーが自らの職務を行うためであること、および(iii)契約したリサーチ・サービスの範囲内であること、かつ、下記記載の「条件」を遵守する必要があります。
 3. ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチ・ドキュメントを共有できます。ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチの一部の引用または派生物(下記をご参照ください。Gartner リサーチ・ドキュメントの全体は不可とします)を共有することができます。ただし、(i)ライセンス・ユーザーの所属する会社内に限定すること、(ii)ライセンス・ユーザーの職務範囲内であること、かつ、下記記載の「条件」を遵守する必要があります。

条件

- a. 組織的に行ったり日常的に行ったりしないこと (たとえばライセンス・ユーザーが、Gartner リサーチのサマリーや抜粋を定期的に変換して配布したり、Gartner リサーチを必要とする非ユーザーのためにライセンス・ユーザーへのアプローチが可能な社内プロセスを利用したりする場合など)。
- b. 共有先が、ライセンス・ユーザーの所属する会社内の 15 人以内に限定されていること。
- c. 意図的であるか結果的であるかを問わず、ユーザー・ライセンスの追加購入を避けることを目的としないこと。
- d. Gartner リサーチのいかなる部分または Gartner リサーチに関連するデータもしくはコンテンツに、アクセスし、検索し、取得し、コピーまたはモニターするために、スクレーパー、ロボット、ボット、スパイダー、データマイニング、コンピュータコード、またはその他の自動化されたデバイスまたはインテリジェンス、プログラム、ツール、アルゴリズム、プロセス、または方法論を使用しないこと。

Gartner リサーチの共有は以下の場合に認められます。

- 一部を引用する場合：ライセンス・ユーザーは、社内向けの報告書やプレゼンテーションの中に、Gartner リサーチの一部を（例えば、最大で 5 つの文章までの数行の文章、1 つの段落、または 1 個の図表）引用することができます。ただし、出典元が Gartner であることを記載してください。
- 派生的に使用する場合：ライセンス・ユーザーは、自らのプロジェクト・チームや上級レベルの意思決定者のために、Gartner リサーチを自らの言葉で短く要約することができます。ただし、出典元が Gartner であることを記載してください。また、Gartner リサーチを人工知能または機械学習によって派生的に利用することは認められません。

Gartner リサーチの共有は、以下の場合には認められません。

- ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチを印刷物または電子形式で社内外を問わず第三者と共有することはできません。
- ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチを電子メール、イントラネットへの投稿、またはその他の情報保管および検索システムを通じて、社内外の第三者グループと共有することはできません。

II. 情報技術は日進月歩で進化し、変化するため、Gartner リサーチは特定の日時においてのみ信頼性を有します。

➤ ライセンス期限が終了した場合、ライセンス・ユーザーは以下の事項を遵守してください。

1. ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチのソフト・コピー（電子データのコピー）を社内システムからすべて削除しなければなりません。Gartner リサーチを保持することは禁じられています。
2. ライセンス・ユーザーは、Gartner リサーチ・ドキュメントの印刷されたコピーをすべて廃棄しなければなりません。

Gartner リサーチ利用のベスト・プラクティス

Gartner リサーチを社内で利用する場合

ライセンス・ユーザーの個人での利用または同僚による利用

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるドーンは、自社が購入したサービスに規定されている範囲内で、アクセスして閲覧できる Gartner リサーチ・ドキュメントの数に制限はありません。また、ドーンは社内でも自分の職務を行う際に個人的な利用を目的として、任意の Gartner リサーチ・ドキュメントのハードコピーを 1 部出力することができます。

ライセンス・ユーザーであるフランクが、ある Gartner リサーチ・ドキュメントを閲覧し、これを同僚のジョアンおよびラリーと共有したいと考えた場合、Gartner リサーチ・ドキュメント・ページのアイコン・バーにある「Share」オプションを使用して共有できます。ジョアンとラリーがこの Gartner リサーチ・ドキュメントにアクセスするためには、フランクと同じレベルの権限を有するライセンス・ユーザーでなければなりません。ドキュメントの受取人がライセンス・ユーザーであるかどうかに関係なく、Gartner の基本ルールとして、Gartner リサーチ・ドキュメントの PDF ファイルのダウンロードおよび転送は禁じられています。

ビジネス・ミーティングで少人数の同僚へサマリーを配布

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、戦略的コスト管理について興味ある Gartner リサーチを見つけ、これをビジネス・ミーティングで同僚 10 名に伝えたいと考えた場合、Gartner リサーチ・ドキュメントの完全版をコピーして配布するのではなく、主なポイントをメモに要約し、同僚に提供することができます。ただし、(i)このようなサマリー作成を組織的に行ったり日常的に行ったりしないこと(Gartner リサーチのサマリーを定期的に作成して配布するなど)、(ii)配布対象者を社内の 15 名以内に限定すること、(iii)意図的であるか結果的であるかを問わず、追加ライセンスの購入を避けることを目的としないこと、および(iv)Gartner リサーチのいかなる部分または Gartner リサーチに関連するデータもしくはコンテンツに、アクセスし、検索し、取得し、コピーまたはモニターするために、スクレーパ、ロボット、ポット、スパイダー、データマイニング、コンピュータ・コード、またはその他の自動化されたデバイスまたはインテリジェンス、プログラム、ツール、アルゴリズム、プロセス、または方法論を使用しないことが条件となります。

許諾されない例

所属する部門で唯一のライセンス・ユーザーであるドーンは、Gartner リサーチ・ドキュメントを閲覧してそのサマリーを (1) 定期的な作成し、(2) IT 部門内の数多くのユーザーへ配布できる唯一の人間です。このように (1) 組織的または日常的にサマリーを作成し、(2) 15 名のプロジェクト・チームを超える大勢の非ユーザーへ配布することは、禁じられています。日常的には機会に応じて行うことは許諾されていますが、上記のドーンの例では日常のかつ組織的に行われています (追加のユーザー・ライセンスを購入することなく同じ効果を得られるため)。具体的なサービスについて、どのレベルまで要約が認められているのかが不明な場合は、Gartner のアカウント・エグゼクティブにお問い合わせください。

社内プロジェクト用の抜粋／引用

許諾される例

非ユーザーであるヘンリーが、プロジェクトで同僚のドーン(ライセンス・ユーザー)の助言を求めた場合、ドーンは Gartner レポートからの少量の抜粋を含め、Gartner リサーチ・ドキュメントから得た情報の一部を簡単なメモとしてヘンリーに渡すことができます。このとき、抜粋および引用部分の出典が Gartner であることを適切に示す必要があります。

ライセンス・ユーザーであるドーンが、自分の属するプロジェクト・チームのミーティングを予定し、PowerPoint のプレゼンテーションに Gartner リサーチ・ドキュメントから 2 文の引用文を 1 つとグラフィックを 1 つ含めました。このときドーンは、「コンテンツ コンプライアンス ポリシー」(旧「著作権と使用・引用に関するポリシー」)のセクション 6.1 に従い、これらの出典が Gartner であることを適切に表記しました。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、非ユーザーの同僚向けに毎週発行している「IT ニュースレター」に購入した Gartner サービスを利用したいと考えています。具体的に、ニュースレターの読者層が興味を持ちそうな話題について、様々な Gartner リサーチ・ドキュメントからの抜粋および引用を含めるつもりです — これは許諾されません。Gartner リサーチからの抜粋と引用は非定期的な社内レポートで使用することは認められていますが、組織的または日常的に行うことは禁じられています（追加のユーザー・ライセンスを購入することなく同じ効果を得られるため）。具体的なサービスについて、どのレベルまで抜粋および引用が認められているかが不明な場合は、Gartner のアカウント・エグゼクティブにお問い合わせください。

Gartner リサーチ・ドキュメント全体を契約の規定に従った形で同僚と共有

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるドーンは、自社経営陣の戦略的イニシアチブに取り組んでいます。この短期プロジェクトの一環として、適切な Gartner リサーチを役員と共有する必要があります。購入した製品の契約において、ドーンには社内で決まった数のドキュメントを共有する権利が付与されているので、このリサーチを役員と共有できます。

ライセンス・ユーザーであるフランクが、ある Gartner リサーチ・ドキュメントを閲覧し、これを同僚のジョアンおよびラリーと共有したいと考えた場合、Gartner リサーチ・ドキュメント・ページのアイコン・バーにある「Share」オプションを使用して共有できます。ジョアンとラリーが「Share」を使用してこの Gartner リサーチ・ドキュメントにアクセスするためには、フランクと同じレベルの権限を有するライセンス・ユーザーでなければなりません。ドキュメントの受取人がライセンス・ユーザーであるかどうかに関係なく、Gartner の基本ルールとして、Gartner リサーチ・ドキュメントの PDF ファイルのダウンロードおよび転送は禁じられています。

ライセンス・ユーザーのヘンリーは、クラウド・コンピューティングの社内利用について調査する新しいチームを任されました。彼は次のプロジェクト・ミーティングでいくつかの Gartner リサーチ・ドキュメントをチーム・メンバーと共有したいと考えました。共有したい各 Gartner リサーチ・ドキュメントには、「This Research note is restricted to the personal use of henry.campbell@company.com (本リサーチ・ノートは henry.campbell@company.com の個人利用に限定)」というウォーターマークが記載されています。ヘンリーが購入したサービスでは社内で 10 の Gartner リサーチ・ドキュメントを共有することが認められているので、彼はこのウォーターマークを気にすることなく、該当する「サービス説明書」の規定に従ってこの Gartner リサーチ・ドキュメントを使用しました。

ライセンス・ユーザーではないビルは、技術評価を実施する職務を担っています。ビルは、技術評価を実施するため、Gartner ライセンスで認められているアクセス権を行使し、Gartner リサーチ・ツールキットをダウンロードし、社内で共有するつもりです。リサーチ成果物に以下の免責文言が記載されている場合、このような共有は認められます。

"Unless otherwise marked for external use, the items in this [Name of Research Deliverable] are for internal noncommercial use by the licensed Gartner client. The materials contained in this Toolkit may not be repackaged or resold. Gartner makes no representations or warranties as to the suitability of this Toolkit for any particular purpose and disclaims all liabilities for any damages, whether direct, consequential, incidental or special, arising out of the use of or inability to use this material or the information provided herein." (本ツールキットは、外部使用向けであることが別途記載されていない限り、[リサーチ成果物の名称]の顧客による非営利目的での内部使用に限定されます。本ツールキットに含まれる内容の再パッケージ化または再販は禁止いたします。Gartner は、本ツールキットの特定目的への適合性について、いかなる事実表明も保証も行わないものとし、本資料または本資料に記載の情報の使用、または使用できないことに起因する損害(直接的、間接的、付随的、特別損害を問わず)に対し、一切の責任を負わないものとします。)

リサーチ成果物は、社外での共有が意図されている場合があり、その場合、該当部分は次の文言によって明確に区分されます。

"Approved for External Use - Not for Resale." (社外で使用できません-再販は認められません。)

許諾されない例

年間を通じて多くのプロジェクトを担当している**非ユーザー**のサリーは、同僚で**ライセンス・ユーザー**のフランクへ頻りに情報提供を求めてきます。フランクは gartner.com でサリーのプロジェクトのトピックをリサーチし、適切な Gartner リサーチ・ドキュメント(1件または複数件)の完全版をサリーに転送しました。フランクがサリーに転送した各 Gartner リサーチ・ドキュメントには、「This Research note is restricted to the personal use of frank.smith@company.com (本リサーチ・ノートは frank.smith@company.com の個人利用に限定)」というウォーターマークが記載されています — これは許諾されません。フランクが購入した製品ではこのような共有が認められておらず、またサリーはライセンス・ユーザーではありません。サリーが Gartner リサーチ・ドキュメントの完全版を閲覧するためには、同社担当のアカウント・レプレゼンタティブに連絡し、追加のユーザ

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入したライセンス・ユーザーへ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的にも本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

ー・ライセンスを購入する必要があります。アカウント・レプレゼンタティブは、サリーのニーズに合わせた最適なソリューションを提案します。

ライセンス・ユーザーであるフランクは、自分のプロジェクト・チームと共有するつもりのプレゼンテーションの一部として、Gartner リサーチ・ドキュメントから複数のグラフィックを抜粋し使用すると共に、プレゼンテーションの付録にはドキュメントのページ全体を挿入しました。これは許諾されません。Gartner は、リサーチ・ドキュメントから大規模にコピーしたり共有したりすることを禁じています。ただし、(i)抜粋が組織的または日常的に行われていないこと(例えば、定期的に Gartner リサーチの抜粋を作成して配布するなど)、(ii)配布先が社内の 15 人以内に限定されていること、(iii)追加のユーザー・ライセンスの購入を回避する意図または効果をもって行われていないこと、(iv)Gartner リサーチのいかなる部分または Gartner リサーチに関連するデータもしくはコンテンツに、アクセスし、検索し、取得し、コピーまたはモニターするために、スクレーパー、ロボット、ボット、スパイダー、データマイニング、コンピュータ・コード、またはその他の自動デバイスまたはインテリジェンス、プログラム、ツール、アルゴリズム、プロセスまたは方法論を使用しないこと、および(v)「コンテンツ コンプライアンス ポリシー」(旧「著作権と使用・引用に関するポリシー」)のセクション 6.1 に従い出典が Gartner であることを適切に表記することを条件に、社内利用を目的として Gartner リサーチから数行程度の文章および一個の図表を抜粋して使用することは認められています。別の方法として、リプリント・ライセンスを購入することで、その利用条件に基づいてドキュメント全体を利用することができます。

ライセンス・ユーザーのサリーは部門内(または社内)で唯一のライセンス・ユーザーのため、社内の非ユーザーから、それぞれの個人的な業務に使用するために Gartner リサーチからのサマリーや抜粋・引用、簡単なデータ・ポイントを提供することを求められます。サリーは、ライセンス・ユーザーとして非定期的な Gartner リサーチからの抜粋・引用やサマリーの作成のみが認められています。サリーによる社内または部門内の非ユーザーへの抜粋・引用およびサマリーの提供は、日常的な活動であると見なされず(社内のビジネス・プロセスとして、非ユーザーが Gartner リサーチのニーズを満たすためにサリーに依頼できる環境が確立されている、または非ユーザーからの 1 回のみ依頼といえども日常的な活動であると見なされるほど件数が多いため)。意図的であるか結果的であるかを問わず追加のライセンスを購入することなく同じ効果を得られるため、これらは許諾されません。

Gartner リサーチ・ドキュメント全体を契約の規定に従った形で部門または社内全体に公開

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるフランクが、自社がビジネスを展開している技術分野の Gartner マジック・クアドラントを見たところ、自社が「リーダー」クアドラントに置かれていました。このマジック・クアドラントを自社のパブリックウェブサイトで公開したいと考えたフランクは、マジック・クアドラントのリプリント・ライセンスを購入しました。Gartner は書式設定されたマジック・クアドラントをフランクに送付しました。フランクは、リプリント・ライセンスの規定にしたがって、このマジック・クアドラントを自社のイントラネット・サイトに公開することができます。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、自分の部門で新しいテクノロジーの調査を担当しています。彼は関心のある Gartner リサーチ・ドキュメントを読み、このドキュメントを共有サーバーのチーム・フォルダに置いたり、PDF 版を添付したグループ・メールを送信したりしています。これは許諾されません。ライセンス・ユーザーが、Gartner リサーチ・ドキュメントの PDF 版を部門や全社規模のサーバーやチーム共有フォルダにアップロードすることは禁じられています。この場合、フランクは(i)要約が組織的または日常的に行われていないこと(例えば、Gartner リサーチの要約を定期的に作成・配布すること)、(ii)配布先が社内の 15 人以内に限定されていること、(iii)追加のユーザー・ライセンスの購入を回避する意図または効果をもって行われていないこと、および(iv) Gartner リサーチのいかなる部分または Gartner リサーチに関連するデータまたはコンテンツに、アクセスし、検索し、取得し、コピーまたはモニターするために、スクレーパー、ロボット、ボット、スパイダー、データマイニング、コンピュータ・コード、またはその他の自動化されたデバイスまたはインテリジェンス、プログラム、ツール、アルゴリズム、プロセス、または方法論を使用しないことを条件として、対象の Gartner リサーチ・ドキュメントのサマリーをチーム用に作成することができます。また、その Gartner リサーチ・ドキュメントのリプリント・ライセンスを購入する方法もあります。

ラップトップやオフィス・コンピュータ/デバイスへの格納

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入したライセンス・ユーザーへ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的にも本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるドーンは出張の多い仕事をしているため、外出先でも自分のラップトップ・コンピュータから Gartner リサーチ・ドキュメントにアクセスしたいと考えています。ライセンス・ユーザーは、個人使用を目的として Gartner リサーチ・ドキュメントの PDF 版をダウンロードすることが認められています (gartner.com でオプションの 1 つとして PDF 版をダウンロードできる場合)。ただし基本ルールとして、顧客の社内外を問わず、また受取人がライセンス・ユーザーであるかどうかに関係なく、他者への配布を目的としたライセンス・ユーザーによる PDF 版のダウンロードは禁じられています。

ライセンス・ユーザーであるフランクは、ある Gartner リサーチ・ドキュメントに関心を持ち、後で読みたいと思いました。彼は出張が多いので、後でオフラインで読めるようにこの Gartner リサーチ・ドキュメントを自分のラップトップに保存しました。フランクが個人で使用する限り(再配布をしない限り)、このように保存することは認められています。その後ライセンスが終了した場合、デバイスに保存したすべての Gartner リサーチ・ドキュメントは削除しなければなりません。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるサリーは IT 部門に属する管理者で、IT 部門へのリサーチのアクセス提供を担当しています。彼女は重要なプロジェクトに取り組んでいる IT 部門の他のユーザーに、Gartner リサーチ・ドキュメントを提供したいと考え、数多くの Gartner リサーチ・ドキュメントを自分のデスクトップにダウンロードして共有サーバーに保存しています — 基本ルールとして、Gartner リサーチ・ドキュメントのダウンロードおよび他人がアクセスできる社内のストレージおよび検索可能なシステムへの保存は禁じられています (すなわち複数部門で共有しているサーバー、全社規模のイントラネットや掲示板、SharePoint、他の情報ストレージおよび検索システムなど)。

ライセンス・ユーザーであるフランクは、予算の関係で Gartner のライセンスを更新しないことにしました。現在のライセンス契約期間が終了する 2 週間前、フランクは gartner.com 全体を詳細にチェックし、今後の参考用に必要となる数多くの Gartner リサーチ・ドキュメントをダウンロードしました — Gartner リサーチ・ドキュメントを含め、Gartner が提供するすべてのリサーチ内容は Gartner の所有物で、その著作権も Gartner が有しています。顧客企業は、サービス契約に規定されているライセンス契約期間内において、Gartner リサーチへアクセスし、閲覧することが認められています。ライセンス契約期間の終了に伴い、ライセンス・ユーザーが Gartner リサーチを利用したり保存したりすることは認められず、社内のシステムに保存しているすべての Gartner リサーチ・ドキュメントを削除しなければなりません。

購入した製品と本ガイドラインに規定されている権利が異なる場合

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるサリーは Gartner for IT Leadership Team Plus の Team Leader ライセンスを契約しましたが、その「サービス説明書」の規定が本 Gartner 利用ポリシーに記載されている基本ライセンスと異なっている点に気がしています。Gartner 製品の中には、本 Gartner 利用ポリシーの基本ライセンスとは異なる権利が認められている製品もあります。サリーが契約した製品のサービス契約の期間内は、その製品の規定が適用されます (また、Gartner 利用ポリシーの基本ライセンスに優先して適用されます)。

Gartner の市場予測データや市場シェア・データを活用

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるビルは市場情報の責任者です。当四半期のみについて(1 回だけ)、インド PC 市場最大の競合他社の当四半期の業績を示す Gartner の市場シェア・データを、社内のインド担当マネージャーと共有したいと考えています。ビルは Gartner からの適切な情報を抜粋・引用して(「自社名+社外秘」と記載)社内のインド担当マネージャーのみと共有し、電子メールでインド担当マネージャーに送信するつもりです。これは Gartner の市場シェア・レポートからのサマリー・レベルの競合他社 5 社以内を反映する小規模なデータの抜粋・引用で、日常的に行われるものではなく(1 回のみ)、また非ユーザーによる利用も(インド担当マネージャー)日常的なものではないので(1 回のみ)、問題ありません。

ライセンス・ユーザーであるフランクは、3 名の製品マーケティングチームに対して、次の戦略会議のためのモバイルデバイスの予測データを提供することを検討しています。彼が作った PowerPoint のプレゼンテーションには 2 つのセグメントに関する 3 年間の予測データが含まれていますが、Gartner が出典元であると(すなわち「会社名」社内使用限定)ときちんと書くつもりです。これは、Gartner 予測レポートからの概略レベルかつ若干のデータ抜粋であり、定期的でなく(1 度のみ)、しかも時折(1 度のみ)、15 人までの社内使用で使われるだけです。許諾された利用となります。

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入したライセンス・ユーザーへ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的にも本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

許諾されない例

所属するマーケティング部門で唯一のライセンス・ユーザーであるスーザンは、会社全体の競合分析情報の収集を1人で担当しています。彼女は主に製品管理の担当役員を支援していますが、役員からは(i)サマリーのレベルを超えたデータの抜粋・引用、(ii)社内のデータハウスや他の社内システムへの Gartner 市場シェア・データのインポートまたは入力、(iii)社内イントラネットや外部ウェブサイトへの、Gartner 市場シェア・データのデータセットまたはデータのサマリーもしくは抜粋・引用のアップロードを繰り返し頼まれます。―― これらのいずれも許諾されません。なぜなら、Gartner 市場シェア・データの組織的または日常的な共有、社内データ・ウェアハウスまたは他のシステム／ツールへのインポート、社内イントラネットまたは外部ウェブサイト(それぞれ(i)、(ii)、(iii)に対応)を禁じるルールに抵触するからです。Gartner 市場シェア・データまたは市場予測データの適切な利用方法については、電子メール usageguidance@gartner.com までお問い合わせください。

注意:これは基本ライセンスで、具体的な内容は購入した製品ごとに異なります。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

Gartner 利用ポリシー

社外（顧客企業外）におけるリサーチ・ドキュメントの利用

ライセンス・ユーザー以外が Gartner リサーチ・ドキュメントにアクセスし、閲覧することは禁じられています。ライセンス・ユーザーは、自らの職務を行うために個人で利用する限り、契約したリサーチ・サービスの範囲内であれば、アクセスして閲覧できるドキュメントの数に制限はありません。

Gartner リサーチ・ドキュメントの (a) 社外との共有、(b) 電子メール、インターネットへのポスティング、その他の外部の情報ストレージや検索可能なシステムを通じた共有は禁じられています。

ライセンス・ユーザーがその職務を遂行する上で Gartner リサーチを社外で共有する必要がある場合は、ライセンス・ユーザーは下記のことを行えます。

- 事前に Quote Request ([こちら](#)) から承認を得るとともに、「Gartner コンテンツ コンプライアンス ポリシー」(旧「[著作権と使用・引用に関するポリシー](#)」) に従うことを条件に、抜粋・引用または参照情報としての提供ができます。
- 外部での使用のためにリプリント・ライセンスを購入できます。リプリント・ライセンスに関する詳細はリプリント・チームにお問い合わせください。

Gartner リサーチ利用のベスト・プラクティス

Gartner リサーチを社外で利用する場合

Gartner が承認した抜粋／引用の社外利用

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、ローカルのビジネス・セミナーでプレゼンテーションを行う予定で、その PowerPoint に Gartner リサーチ・ドキュメントからの引用を記載したいと考えています。フランクはあらかじめ「Gartner コンテンツ コンプライアンス ポリシー」(旧「[著作権と使用・引用に関するポリシー](#)」) の内容を確認し、引用について許諾を得るために Quote Requests に要望を提出しました。Gartner から利用許諾を取得したフランクは、非常に質の高いプレゼンテーションを行うことができました。

ライセンス・ユーザーであるサリーは、予定されている IT カンファレンスで Gartner のリサーチ内容からどの程度の抜粋・引用や参照情報を使用できるのか、「Gartner コンテンツ コンプライアンス ポリシー」(旧「[著作権と使用・引用に関するポリシー](#)」) の内容を細かく精査しています。確実に規定を遵守するため、サリーはポリシーを確認すると共に Quote Requests ([こちら](#)) へ引用に関する説明と承認を求める電子メールを送信しました。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるドーンは自社プレスリリースの発行責任者ですが、Gartner からの書面による事前の許諾なしに Gartner リサーチの内容をプレスリリースに掲載しています —— これは許諾されません。「Gartner コンテンツ コンプライアンス ポリシー」(旧「[著作権と使用・引用に関するポリシー](#)」) では、Gartner リサーチの内容のいかなる外部での使用についても、事前に

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入したライセンス・ユーザーへ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的に本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

Gartner から書面による許諾を取得しておくことが求められています。ドーンはポリシーの内容を確認し、事前承認を得るため Quote Requests ([こちら](#)) に連絡する必要があります。

Gartner リサーチ・ドキュメント全体のリプリント・ライセンスを購入し、社外と共有

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるローラはパブリック・リレーションズ部門の責任者で、先頃リプリント・ライセンスを購入しました。このライセンスに基づいて、ローラは自社が「リーダー」クアドラントに置かれているマジック・クアドラントを配布することができます。ローラは、既存顧客と見込客の両方にこの評価情報を提供したいと考えています。電子メールで使用するプロモーションの文言について Gartner リプリント部門からあらかじめ許諾を取得することで、ローラは既存顧客と見込客にリプリントへのリンクが設定された電子メールを送信できます。受信者は、このマジック・クアドラント・レポートの完全版を閲覧できます。

ライセンス・ユーザーであるドーンはアナリスト関係管理部門のディレクターで、自社が高く評価されている Gartner のベンダー評価リサーチのリプリント・ライセンスを購入しました。ドーンは、Gartner と契約したリプリント・ライセンスに規定されている条件にしたがって、リプリントを社外のユーザーと共有することができます。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、勤務先の広告会社で顧客にかわって技術トレンドのリサーチを担当しています。彼は、役立つ Gartner リサーチ・ドキュメントを見つけると、著作権が設定されている PDF 版を添付ファイルとして電子メールを顧客にグループ一斉送信しています —— これは許諾されません。Gartner は、ライセンス・ユーザーによる Gartner リサーチ・ドキュメントの PDF 版を電子メールで転送することを禁じています。フランクはグループへの電子メールで Gartner リサーチ・ドキュメントの完全版を共有することができませんが、(i) リプリント・ライセンスを購入し、契約に準拠してドキュメント全体を活用する、または(ii) 当該 Gartner リサーチ・ドキュメントから重要な文を数行選び出し、グループへの電子メールで共有するという 2 つの選択肢があります。(ii) の場合、選び出した数行の文を記載した電子メールのドラフトを許諾のため Quote Requests ([こちら](#)) に連絡する必要があります。Gartner の [Quote Requests](#) 部門から許諾された引用文は電子メールで顧客へ送信することができますが、日常的(ルーチン的)に行うことは禁じられています。

注意: これは基本ライセンスで、具体的な内容は購入した製品ごとに異なります。詳細は [こちら](#) をご覧ください。

Gartner 利用ポリシー

Inquiry (お問い合わせサービス)

ライセンス・ユーザーは、Inquiry (お問い合わせサービス) を利用できます。

ライセンス・ユーザーは、お問い合わせセッション (または、適切かつ承認された場合は、書面による応答) において、下記について問い合わせることができます。

- 直面している重要な問題や決断事項
- Gartner リサーチの解釈
- ビジネス関連文書のドキュメントレビュー (添付資料を含めて最大 20 ページまで)
- IT のアウトソーシングの提案書などテクノロジー購入に関する提案書レビュー (提案書 1 件あたり添付資料を含めて最大 20 ページまで)

備考: 顧客企業の社内外を問わず、非ユーザーによるお問い合わせセッションへの参加およびアナリストからの書面による回答のコピーの受信は禁じられています。疑義を避けるため、本文脈において非ユーザーによる「参加」とは、具体的に下記の行為を禁じています。

- お問い合わせセッションへの物理的な参加
- お問い合わせセッションを聞くこと

本ガイドラインに規定されている基本サービスの範囲を超える Inquiry (お問い合わせサービス) 利用の権利は、購入したサービスごとに異なります (すべてのサービスにお問い合わせサービスが含まれるものではありません)。購入したサービスに固有の権利に関する詳細は、自社担当のアカウント・エグゼクティブにお問い合わせください。

Inquiry 利用のベスト・プラクティス

Inquiry (お問い合わせサービス) の利用

Inquiry はすべての Gartner サービスで利用できるのか

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるジョージは、銀行および投資サービスの Gartner リサーチ・ドキュメントを閲覧した後、このドキュメントを作成した Gartner の業界リサーチ・アドバイザーに、ドキュメントに記載されている情報について、二次的な質問をしたいと考えました。会社が契約した Industry Advisory Services ライセンスでジョージには必要なアドバイザー・レベルのアクセスが認められているので、ジョージは対象の Gartner 業界リサーチ・アドバイザーとのお問い合わせセッションのスケジュール設定を申し込むことができます。

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入したライセンス・ユーザーへ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的にも本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

許諾されない例

非ユーザーであるサリーは、どうすれば自社のネットワークおよび通信システムの再構築を実行できるのかについて、上層部にガイダンスを提供しなければなりません。彼女の同僚のライセンス・ユーザーのフランクは、自身の代わりにサリーが参加することを前提としてお問い合わせセッションのスケジュールを設定しました —— これは許諾されません。非ユーザーがお問い合わせセッションに参加することは禁じられています。ただし、フランクがお問い合わせセッションの内容をメモに取り、必要に応じてサリーと共有することは可能です。別の方法として、この会社が Gartner の担当アカウント・レプレゼンタティブに連絡し、サリーのユーザー・ライセンスを購入すれば、サリーは自らの権利としてお問い合わせセッションに参加できます。アカウント・レプレゼンタティブは、サリーのニーズに合わせた最適なソリューションを提案します。

お問い合わせセッションに参加できるユーザー

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるジョージが仕事をしているグループのメンバーは、全員が Industry Advisory Services のアドバイザー・レベルのライセンスを有しています。このグループが、世界の製造市場における競争力向上に関するプロジェクトを立ち上げることになり、その準備として主な課題への理解を深めることを目的に、Gartner の業界リサーチ・アドバイザー1 名とのお問い合わせセッションを設定したいと考えています。ジョージのグループのメンバー全員が、Industry Advisory Services についてアドバイザー・レベルのライセンスを有しているので、これは許諾されます。

ライセンス・ユーザーのドーンは IT Leadership Team ソリューションを購入しており、会社からリーダー・ライセンス・ユーザーに指定されています。ベンダー候補を評価中のドーンと IT Leadership Team のメンバーは、ベンダーの選択について Gartner リサーチ・アドバイザーに相談する必要があります。リーダーであるドーンは、自分と IT Leadership Team メンバーのためのお問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。すべての参加者が IT Leadership Team ライセンスを有しているので (Leader ライセンスと Member ライセンス)、これは許諾されます。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、年間を通じて様々なプロジェクトを担当するエンタープライズ・アーキテクトですが、同僚たちにもアナリストへのお問い合わせセッションに参加してもらい、全員の意識の統一を図ると共に必要なすべての疑問への答えを出したいと考えています。時々フランクはお問い合わせセッションに大人数の参加を促していますが、誰もセッションへの参加条件であるアドバイザー・レベルのライセンスやチーム・ライセンスを有していません —— これは許諾されません。購入したサービスについて適切なアクセス・レベルが規定されたライセンス・ユーザー以外がお問い合わせセッションに参加することは禁じられています。お問い合わせセッションに同僚たちも参加させたい場合は、アカウント・レプレゼンタティブに連絡し、ニーズに合った最適な解決策を相談する必要があります。

ライセンス・ユーザーであるサリーは IT 部門に属する管理者の 1 人で、現在 Industry Advisory Services のアドバイザー・レベルのライセンスを有しています。彼女は、主要なプロジェクトに取り組んでいる IT 部門の同僚のために、これらの同僚が非ユーザーなのか、またはアクセス・レベルの異なるライセンス・ユーザーなのかに関係なく、頻繁にお問い合わせセッションを設定しています。サリー自身は、お問い合わせセッションに参加しません —— 基本ルールとして、お問い合わせセッションへの参加者は、ライセンス・ユーザー (Gartner との同種のサービスの契約で、お問い合わせサービスの利用が認められているライセンス・ユーザー) に限定されます。顧客企業の社内外を問わず、非ユーザーによるお問い合わせセッションへの参加は禁じられています。

ライセンス・ユーザーであるドーンは、アナリスト関係管理の担当で、新製品の立ち上げについて話し合うためにお問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。ドーンは、このお問い合わせセッションに非ユーザーも参加させたいと考えています。ただし非ユーザーはセッションを聞くだけで、Gartner リサーチ・アドバイザーとやり取りはさせないと約束しました —— これは許諾されません。理由は次の通りです。

(1) お問い合わせセッションへの参加、同席、聞くことができるのは、対象サービスで適切なアクセス・レベルが認められているライセンス・ユーザーのみであるため。

および

(2) 非ユーザーによる (a) お問い合わせセッションへの物理的な参加 (b) お問い合わせセッションを聞くことが禁じられているため。

ライセンス・ユーザーであるジョンは、製品開発の担当で、外部の取引先と協業している製品戦略について話し合うためにお問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。ジョンは、このお問い合わせセッションに、この取引先のライセンス・ユーザーであるサリーも参加させたいと考えています —— これは許諾されません。なぜなら、お問い合わせセッションは、Gartner リサーチ・アドバ

イザーと一つの顧客企業のライセンス・ユーザー間のみに限定して行われる戦略的な会話だからです。他社のライセンス・ユーザーがお問い合わせセッションに参加することは禁じられています。

お問い合わせセッションから得られた知見の共有およびこれらを共有できるユーザー

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるジョージは、プロジェクト・チームに割り当てられ、あるトピックについて追加情報を取得するために Gartner へのお問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。ジョージはお問い合わせセッションの間にメモを取り、プロジェクト・チームの社内メンバーと共有することができます。お問い合わせセッションの間に行ったメモをプロジェクト・チームの社内メンバーと共有するには、それが (i) 組織的または日常的に行うのではないこと、(ii) 配布する対象者が社内の人間に限られること (プロジェクト・チームのメンバー数は 15 名以内であること。15 名を超える場合は usageguidance@gartner.com に問い合わせてください) 及び (iii) ユーザー・ライセンスの追加購入を回避する意図または結果となるものでないことが条件となります。

ライセンス・ユーザーであるドーンが、現在検討中のベンダー選択のために Gartner リサーチ・ドキュメントを閲覧したところ、自分が候補にしているベンダーについてのリサーチが、Gartner から過去 3 年間発表されていないことがわかりました。彼女はお問い合わせサービスを利用できる Gartner for IT Leaders のアドバイザー・ライセンスを有しているため、このベンダーの市場における動向について意見を聞くため、お問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。Gartner のリサーチ・アドバイザーは、ベンダーの選択プロセスを支援する最新データと知見をドーンに提供します。ただし、顧客のベンダー選択において Gartner のリサーチ・アドバイザーが具体的なベンダーを推奨することはできません。

ライセンス・ユーザーであるジョンは狭い地域に事業を展開している小規模企業の CIO で、ERP システムの導入責任者として興味深い Gartner リサーチ・ドキュメントを読みましたが、このドキュメントに記載されているアドバイスが自社にあてはまるかどうか確信を持っていませんでした。ジョンは Gartner for IT Executives CIO 製品を契約しているため、この Gartner リサーチ・ドキュメントで公開されている情報以外にさらに詳細な話を聞くため、お問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。Gartner のリサーチ・アドバイザーからの提案と情報によって、ジョンは質の高い豊富な情報に基づいて ERP システムを選択するための優れた知見を手にすることができます。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるドーンは、IT 部門のコスト削減のための様々な取組みの責任者を務めていますが、Gartner リサーチ・アドバイザーとのお問い合わせセッションを実施し、自社のコスト削減戦略について細かい話し合いを行い、優先度および概算の所要期間を定義したいと考えています。このニーズへ応えるためにはリサーチ・アドバイザーによる追加のリサーチや参考資料の作成が必要となるため、30 分のセッション時間枠に収まりません。代替案として、ドーンは自社を担当している Gartner のアカウント・プレゼンタティブから、Strategic Advisory Services (SAS) Internal Advisory Session を購入し、利用できます。

ライセンス・ユーザーであるジョンは、Camera Depot (米国のカメラ・ショップ) およびデジタル一眼レフカメラの最新技術についての話をするためにお問い合わせセッションのスケジュールを設定しましたが、Camera Depot とデジタル一眼レフカメラのどちらも Gartner リサーチは網羅していません。ジョンが指定するベンダーとトピックは Gartner リサーチの対象範囲外なので、Gartner 以外の情報源にあたる必要があります。

お問い合わせセッションの録音

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、「グリーン IT 戦略」の Gartner リサーチ・ドキュメントについてお問い合わせセッションのスケジュールを設定しました。このセッションで得た情報を後で社内の主なマネージャーたちと共有するため、セッションの様態を録音したいと考えています。Gartner は、お問い合わせセッションを録音することを禁じています。お問い合わせセッション中に個人的にメモを取り、これを共有することはできませんが、逐語的な録音は許諾されません。

購入した製品の Inquiry に本 Gartner 利用ポリシーと異なる権利が規定されている場合

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるジョージは Executive Programs Leadership Team のライセンスを契約しましたが、その「サービス説明書」の規定が本 Gartner 利用ポリシーに記載されている基本ライセンスと異なっている点が気になっています。Gartner 製品の中には、本 Gartner 利用ポリシーの基本ライセンスとは異なる権利が認められている製品もあります。ジョージが契約した製品のサービス契約の期間内は、その製品の規定が適用されます。

リサーチ・アドバイザーからの書面による回答の共有および共有できる相手方

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるドーンは、お問い合わせ権限があるライセンスを契約しています。ドーンはお問い合わせセッションではなく、彼女の質問に対するリサーチ・アドバイザーからの書面による回答を要望し、Gartner の承認を得ました。リサーチ・アドバイザーからの回答書面は、CIO と共有するつもりです。ライセンス・ユーザーは、リサーチ・アドバイザーからの書面による回答から抜粋・引用または自身の言葉で要約し、かかる抜粋・引用または要約を社内に関与者に共有することができます。ただし、(i) 抜粋・引用または要約が(例えば、Gartner リサーチの抜粋・引用または要約を定期的に作成し配布するなど)組織的または日常的に行われなかったこと、(ii) 配布先が社内の 15 人以下に限定されていること、および(iii) 追加のユーザー・ライセンスの購入を回避する意図または効果をもって行われなかったことを条件とします。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、お問い合わせ権限があるライセンスを契約しています。ベンダー選択プロセスの一環として、フランクは Gartner のリサーチ・アドバイザーに特定のベンダーとの取引について、賛成・反対意見を書面で回答するように求めました。フランクはリサーチ・アドバイザーからの回答を、対象のベンダーにも見せるつもりです。リサーチ・アドバイザーからの書面による回答は要求したライセンス・ユーザーのみによる使用を前提としたものであり、この場合のような使用方法は厳しく禁じられています。リサーチ・アドバイザーからの書面による回答を社外と共有することは、Gartner のポリシーに対する違反となります。

ベンダー提案書の Gartner リサーチ・アドバイザーとの共有

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、提案書レビューを含むお問い合わせ権限があるライセンスを契約しています。フランクは、予定されているベンダーとの契約更新に際し、Gartner リサーチ・アドバイザーに提案書レビューを求めたいと考えていますが、これがベンダーとの既存の契約に規定されている機密保持条項に違反しないかどうかについて懸念しています。フランクは、既存の契約条項のもとで、顧客との秘密保持契約に拘束される専門的アドバイザーと提案書を共有することが許されるかどうかを判断するにあたり、自社の法務部門の指導に従う必要があります。

お問い合わせセッションを通じたドキュメントまたは提案書の評価

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、自社経営陣を対象にした戦略的マーケティング・プランのプレゼンテーションの準備を進めています。フランクは作成した 15 ページのプレゼンテーションを Gartner リサーチ・アドバイザーに検証してもらいたいと考えています。適切なお問い合わせ権限のライセンスを契約することで、フランクはドキュメントのチェックについてお問い合わせセッションを活用することができます。一般的なルールとして、Gartner リサーチ・アドバイザーは、提案依頼書 (RFP)、マーケティングまたはビジネスプラン、その他のビジネス関連のドキュメントの評価を行います。ただし、ドキュメントの枚数は、(i) 20 ページを超えることはできず、(ii) 添付資料を付けることもできません。個別のお問い合わせセッションで 20 ページを超えるような資料を分析し意見交換することは現実的ではなく、フランクにとっても役に立たないからです。さらに、これは法的なサービスではないため、Gartner は書面による回答や文言修正、また項目単位の価格分析も行いません。

許諾される例

ライセンス・ユーザーであるドーンは、次回の IT アウトソース交渉のための戦略を練っており、提案条件を有利にできる部分がないかどうかを見極めたいと考えています。適切なお問い合わせ権限のライセンスを契約することで、ドーンは提案書レビューのためにお問い合わせセッションを活用することができます。一般的なルールとして、Gartner リサーチ・アドバイザーは、署名されていない価格

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入したライセンス・ユーザーへ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的に本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

提案、取引条件、交渉戦略に特化した提案内容の検証を行います。ただし、提案書の枚数は、(i) 20 ページを超えることはできず、(ii) 添付資料を付けることもできません。個別のお問い合わせセッションで 20 ページを超えるような資料を分析し意見交換することは現実的ではなく、ドーンにとっても役に立たないからです。さらに、これは法的なサービスではないため、Gartner は書面による回答や文言修正、また項目単位の価格分析も行いません。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるジョージは、ソフトウェア契約の更新交渉の初期段階にあります。提案書は 100 ページで添付資料も複数あります。彼はお問い合わせ権限を活用し、Gartner のリサーチ・アドバイザーとのお問い合わせセッションのスケジュールを設定し、提案書全体について話し合い、検証してもらいたいと考えています。しかし 20 ページの制限があるため、同じまたは別の Gartner リサーチ・アドバイザーとのお問い合わせセッションを複数回行い、1 回あたり 20 ページを対象に検証してもらうつもりです——これは許諾されません。提案書レビューは添付文書を含めてドキュメントあたり最大 20 ページまでに制限されていると共に、個別のお問い合わせで 20 ページを超えるような資料をリサーチ・アドバイザーが分析し意見交換することは現実的ではなく、ジョージにとっても役に立たないからです。さらに、たとえ検証対象のドキュメントを複数のリサーチ・アドバイザーに振り分けたとしても、全体の検証を一度だけ行った場合に確保される整合性や一貫性が欠けることになります。最後に、これは法律サービスではないため、Gartner は書面による回答や文言修正、また項目単位の価格分析も行いません。提案書とその添付資料が 20 ページを超える場合は、Gartner コンサルティングの契約最適化サービス、または[戦略アドバイザー・サービス](#) (「SAS」) の購入についてアカウント・レプレゼンタティブまでお問い合わせください。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるジョンは CMO (最高マーケティング責任者) で、新製品を市場へ投入する前に販売促進資料とメッセージを制作していますが、定義した価値提案が自社のメッセージとしてターゲット市場に正しく伝わるかどうかを確認するため、お問い合わせセッションのスケジュールを設定したいと考えています。販売促進資料とメッセージ内容は 20 ページの制限を満たしていますが、ジョンは参考資料を追加した上で Gartner のリサーチ・アドバイザーに検証してもらいたいと考えています——これは許諾されません。ドキュメントの検証はドキュメント自体 (最高 20 ページ) に限定され、追加の参考資料は対象とはなりません。個別のお問い合わせで 20 ページを超えるような資料をリサーチ・アドバイザーが分析し意見交換することは現実的ではなく、ジョンにとっても役に立たないからです。さらに、これは法的なサービスではないため、Gartner は書面による回答や文言修正、また項目単位の価格分析も行いません。検証を希望するドキュメントが 20 ページを超える場合は、[戦略アドバイザー・サービス](#) (「SAS」) エンゲージメントの購入についてアカウント・レプレゼンタティブまでお問い合わせください。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるドーンは重要なハードウェアの更新を控え、Gartner に提案書レビューを求めたいと考えています。ドーンは Gartner のリサーチ・アドバイザーに提案書全体を検証してもらいたいと考えていますが、それでは 20 ページを超えてしまうため、20 ページの制限を超えないように工夫して、提案書の書式を大幅に変更しようと考えています——これは許諾されません。提案書レビューは添付資料を含めて 1 件あたり最大 20 ページまでに制限されていると共に、個別のお問い合わせセッションで 20 ページを超えるような提案書をリサーチ・アドバイザーが分析し意見交換することは Gartner にとって現実的ではなく、ドーンにとっても役に立つものとはならないからです。さらに、これは法律サービスではないため、Gartner は書面による回答や文言修正、また項目単位の価格分析も行いません。提案書が 20 ページを超え、または追加の参考資料が含まれる場合は、Gartner コンサルティングの契約最適化サービス、または[戦略アドバイザー・サービス](#) (「SAS」) の購入についてアカウント・レプレゼンタティブまでお問い合わせください。

注意: これは基本ライセンスで、具体的な内容は購入した製品ごとに異なります。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

Gartner 利用ポリシー

ユーザー名およびパスワード

ライセンス・ユーザーには固有のユーザー名およびパスワードが付与されますが、これらはライセンス・ユーザー専用で、社内外を問わず他者または代理人と共有することは禁じられています。政府がクライアントの場合は、特定の職務の監督および管理を職責とする代理機関を自らに含めることができます。

ただし、顧客企業内で別の個人へのユーザー名とパスワードの再割当てが認められる 2 つの例外があります。

- 現ライセンス・ユーザーの職務内容が大幅に変わり、Gartner サービスを利用する必要がなくなった場合、または
- 現ライセンス・ユーザーが顧客企業を退職した場合。

備考：ライセンス・ユーザーを別の個人に再割当てする場合、新しいライセンス・ユーザーの所在地は元のライセンス・ユーザーと同じ国内でなければなりません。元のライセンス・ユーザーと新しいライセンス・ユーザーの国が異なる場合は、適切な解決方法について Gartner の担当アカウント・レプレゼンタティブにお問い合わせください。

備考：ライセンス・ユーザーを米国に所在する個人に割当てする場合は、顧客企業はライセンスが Gartner インクによってのみ提示、販売、提供されることを確認し同意するものとします。

備考：契約社員や外注先へのライセンス割当てを希望する場合

- 契約社員は FTE (フルタイム当量) であること、すなわち電子メール・アドレスおよび会社の名刺が支給されると共に、常勤従業員としてのすべての職務が課せられていることが必要です (期間が決まっている派遣社員とは異なります)。
- 顧客企業は、「Gartner 利用ポリシー」を契約社員に提示すると共に、サービスの誤った利用や規定に抵触した場合に責任を負うことに同意するものとします。
- 契約社員は、Gartner サービスを自社 (すなわちライセンスを発行した企業) に対してのみ利用することに同意しなければなりません。
- いかなる状況においても、ライセンス・ユーザーがそのユーザー名とパスワードを契約社員と共有することは禁じられています。
- 顧客企業と契約社員との契約期間の終了に伴い、上記に規定されている Gartner 利用ポリシーに従い社内の別のユーザーへユーザー・ライセンスを再割当てしてください。

ユーザー名およびパスワード利用のベスト・プラクティス

ユーザー名には自分の電子メール・アドレスを使用すること

許諾される例

マーサは新たな**ライセンス・ユーザー**に指定されましたが、ユーザー名はライセンス・ユーザー個人のものでなければならないので、彼女が会社で使用している電子メール・アドレスまたはマーサ自身の個人名をユーザー名に使用できます。

許諾されない例

新たな**ライセンス・ユーザー**に指定されたジョン・ベイカーは、先日 Gartner Core Research のアドバイザー・レベルのライセンスを割り当てられました。ジョンは、自分のユーザー名を彼が所属する部門の名称か部門で使用している汎用の電子メール・アドレスにすることを希望しています —— ユーザー名は対象のライセンス・ユーザー個人のものであり、企業の部門名や部門の電子メール・アドレスなどに由来する名称を定義することは禁じられています。このシナリオで許諾されるユーザー名は、「John Baker」または「john.baker@client_company.com」です。

既存ライセンスへの別の個人の割当て (ユーザー名とパスワードの切り替え)

許諾される例

ライセンス・ユーザーのジュディは顧客企業の IT マネージャーでしたが、転職で同社を退職することになりました。Gartner は、顧客企業の要望に基づき、同社が指定する次の**ライセンス・ユーザー**用に新しいユーザー名とパスワードを発行します。

ライセンス・ユーザーであるドーンは、カナダを拠点にしている会社(クライアント)の IT 部門から、社内の別の部署へ異動することになりました。移動先の部署では、彼女に Gartner リサーチの利用は求められません。Gartner は、クライアントの要求に応じて、同社が指定する代わりに**ライセンス・ユーザー**に新しいユーザー名とパスワードを発行します。ただし、代わりに**ライセンス・ユーザー**もカナダを拠点にしていることが条件となります。**ライセンス・ユーザー**であるサリーは、3ヶ月間の出産休暇を取得しようとしています。出産休暇の間、彼女のライセンスをジョンに移したいと考えています。**ライセンス・ユーザー**が傷病休暇(出産休暇を含みます)を取得する場合、Gartner は、別の個人にライセンスを移すことを認めます。ただし、(i) **ライセンス・ユーザー**が連続 30 日を超える傷病休暇を取得すること、および(ii) **ライセンス・ユーザー**が傷病休暇を終えた場合は**ライセンス・ユーザー**に**ライセンス**が戻されることが条件となります。

許諾されない例

ライセンス・ユーザーであるフランクは、同僚で**非ユーザー**のサリーが取り組んでいるプロジェクトを支援するため、自分のユーザー名とパスワードを使ってサリーが gartner.com にログオンできるようにしています —— これは許諾されません。サリーが gartner.com へログオンするためにはサリー自身に**ユーザー・ライセンス**が必要となるので、Gartner で担当のアカウント・レプレゼンタティブに連絡し、追加の**ユーザー・ライセンス**を購入しなければなりません。アカウント・レプレゼンタティブは、サリーのニーズに合わせた最適なソリューションを提案します。

ライセンス・ユーザーであるフランクは、IT 部門で同僚のサリーおよびケイトと共にプロジェクト・チームを組んでいます。サリーとケイトは**非ユーザー**です。フランクは、プロジェクト・チーム内の Gartner ライセンスの管理を担当しています。フランクの職務に大きな変更はないものの、サリーに Gartner リサーチへのアクセスを提供することが役立つと考え、プロジェクトの期間中は自分のユーザー名とパスワードをサリーに割当て、プロジェクトが完了したらサリーからフランクへユーザー名とパスワードを再割当てしました。その後、**ライセンス・ユーザー**であるフランクはあらためて自分のユーザー名とパスワードを**非ユーザー**のケイトに割当て、Gartner サービスへアクセスできるようにしました —— これは許諾されません。1 つの Gartner **ユーザー・ライセンス**をこのように組織的に使い回すことは禁じられています。

ライセンス・ユーザーの再割当ては、下記 2 つの状況においてのみ認められます。

- (1) 元の**ライセンス・ユーザー**が顧客企業を退職したとき
- (2) 元の**ライセンス・ユーザー**の職務内容が大幅に変わり、Gartner リサーチを利用する必要がなくなったとき

本 Gartner 利用ポリシーは、Gartner サービスを購入した**ライセンス・ユーザー**へ一般的に適用される基本ライセンスとなるものです。基本ライセンスとは異なる権利が定義されている Gartner 製品については、当該製品に規定されている条項が適用されます。Gartner は、定期的にも本 Gartner 利用ポリシーを更新する権利を有しています。2021 Gartner, Inc. and/or its Affiliates. All Rights Reserved. Update: 19-JULY-2021

注意: これは基本ライセンスで、具体的な内容は購入した製品ごとに異なります。詳細は[こちら](#)をご覧ください。